

2022年2月9日

「従業員エンゲージメント」状態を示す非財務指標として、 大手企業を中心に「エンゲージメント・レーティング」の公表が進捗中 ～資本市場向けのあらゆるメディアでの活用が推進～

株式会社リンクアンドモチベーション（本社：東京都中央区、代表：小笹芳央、証券コード：2170）は、「従業員エンゲージメント」状態を示す非財務指標として、「エンゲージメント・レーティング」の公表が進捗していることをお知らせします。



エンゲージメント・レーティングについて

「エンゲージメント・レーティング」は、企業と従業員のエンゲージメント（相互理解・相思相愛度合い）を表す指標です。当社の従業員エンゲージメント向上クラウドサービス「モチベーションクラウド」での組織診断の結果から、8,740社 237万人以上のデータベースを基に偏差値として「エンゲージメントスコア」が算出され、そのスコアに応じて「AAA～DD」の11段階で判定されます。

11段階のランク付けについて

スコア	33	39	42	45	48	52	55	58	61	67	
レーティング	DD	DDD	C	CC	CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA

本件に関するお問い合わせ先

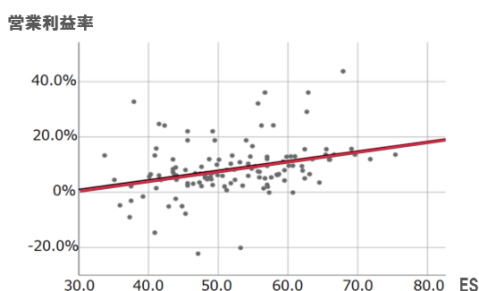
✉ pr@lmi.ne.jp ☎ 03-6853-8111 📠 03-6859-9050 <https://www.lmi.ne.jp/>

株式会社リンクアンドモチベーション 広報担当：前田

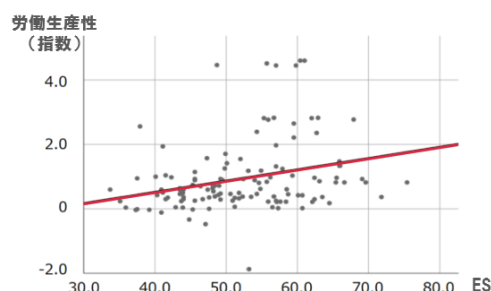
これまで、企業の商品市場への適応度合いは P/L や B/S といった財務情報により明示されている一方、労働市場への適応度合いを測るモノサシは不在でした。この課題を解決するべく、当社は従業員のエンゲージメント状態を可視化する新たな経営指標として、「エンゲージメント・レーティング」の浸透を進めてまいりました。

すでに、慶応義塾大学との共同研究によって、「エンゲージメントが高ければ営業利益率、労働生産性にプラスの影響をもたらす」といった相関性が明らかになっており、その研究データは、経済産業省による「持続的な企業価値の向上と人的資本に関する研究会 報告書 ～人材版伊藤レポート～」にも掲載されています。

エンゲージメントスコア (ES) が
1ポイント上昇すると、
当期の営業利益率は0.35%上昇 する



エンゲージメントスコア (ES) が
1ポイント上昇すると、
労働生産性(指数)は0.035上昇 する



※2018年9月「エンゲージメントと企業業績」に関する研究結果として公表。
※分析対象は、当社の「エンプロイ-エンゲージメントサーベイ」を実施した企業のうち、有価証券報告書が公開されている上場企業66社。研究期間は2018年5月～7月。
※労働生産性は、「従業員に支払われる給与1円あたりの正常収益額(EBITDA)」と定義。

▶研究結果の詳細は[こちら](#)

世界的にも人的資本開示の要請が強まる中、近年、大手企業を中心に「エンゲージメント・レーティング」の開示も進んでおりますので、一部ご紹介いたします。

大手企業における掲載事例のご紹介

現在、大手企業を中心に、「組織のエンゲージメント状態」を示す非財務指標として、中期経営計画、ガバナンス報告書、CSR サイト、決算資料等、あらゆるメディアにて当社のエンゲージメント・レーティングを公表いただいております。

事例①セガサミーホールディングス株式会社様 コーポレート・ガバナンスに関する報告書
人財における重要指標としてエンゲージメント・レーティングを活用

④ 社内環境整備

エンゲージメントスコア*

2021年12月時点 : 50.1/ランクB

2030年度目標 : 58.0以上/ランクA

* 株式会社リンクアンドモチベーション様の提供するモチベーションクラウドによるスコア

レーティング	偏差値
AAA	67以上
AA	61-66.9
A	58-60.9
BBB	55-57.9
BB	52-54.9
B	48-51.9
CCC	45-47.9
CC	42-44.9
C	39-41.9
DDD	33-38.9
DD	33未満

<https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/corp/governance/governance.pdf>

本件に関するお問い合わせ先

✉ pr@lmi.ne.jp ☎ 03-6853-8111 📠 03-6859-9050 <https://www.lmi.ne.jp/>

株式会社リンクアンドモチベーション 広報担当：前田

事例②東急建設株式会社様 長期経営計画
非財務のKPIとしてエンゲージメント・レーティングを設定、公表

長期経営計画：KPI

VISION2030に向けた長期経営計画のKPIを以下の通り設定

経営指標	2020年度 (実績)	2021年度	2023年度	2030年度	
収益性	営業利益	35億円	70億円	130億円以上	220億円以上
	営業利益率	1.5%	2.4%	4.0%以上	5.0%以上
効率性	ROIC	3.2%	4.1%	6.0%以上	7.0%以上
	ROE	2.6%	4.8%	8.0%以上	10.0%以上
健全性	D/Eレシオ	0.26倍	0.5倍以下		
	自己資本比率	45.4%	40-45%程度	45%程度	
非財務	従業員エンゲージメント レーティング ^{※2}	BBB	BBB	A	AAA
	GHG排出量 2018年度基準	5.0%削減	7.5%削減	12.5%削減	30.0%削減

※1 当社は、事業展開上必要な株式取得などへの投下資本に対するリターン(配当等)を適切に反映するため、ROICの算定式を以下の通り設定しております。
(NOPAT+営業外収益) / (自己資本+有利子負債)

※2 株式会社リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」によるエンゲージメントレーティング。対象は子会社を含めたグループ全体の従業員。全11段階に分かれており、現行の「BBB」は、「AAA」「AA」「A」に次ぐ上位から4段階目のレーティング。

<https://www.tokyu-cnst.co.jp/company/strategy/pdf/strategy.pdf>

事例③ティ・エス テック株式会社様 持続可能な社会の実現に向けた「2030年目標」
「人権の尊重」のマテリアリティの1つの指標として「2030年目標 AAA」を設定、公表

	マテリアリティ	KPI	2030年目標
社会	魅力的な革新技術開発	研究開発費に占める 革新技術開発費比率	2021年3月期比 +10%
	製品品質の向上	シートサプライヤーIQS評点 ^{※1}	2.0P (高位安定)
環境	気候変動対応	CO ₂ 排出量削減率 ^{※2}	2020年3月期比 ▲50%
	資源循環、有効活用	廃棄物削減率 ^{※3}	2020年3月期比 ▲50%
		取水量削減率と 排水による環境影響 ^{※4}	2020年3月期比 ▲50% 環境影響 “0”
自然との共生	ティ・エス テック基金 (マッチングギフト制度)の創設	ティ・エス テックグループに よる寄付制度の創設	
企業基盤	人権の尊重	エンゲージメントレーティング ^{※5}	AAA
	多様性を活かした働き方改革	サプライヤーサステナビリティ ガイドライン遵守率 ^{※6}	100%
	ガバナンスの強化	多様な人材の管理職比率 ^{※7}	35.0%
		コーポレートガバナンス・ コード遵守率	100%

<https://www.tstech.co.jp/latest/details/info-detail-post-494.html>

本件に関するお問い合わせ先

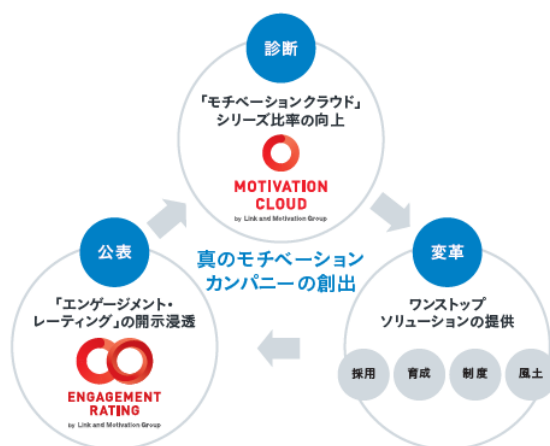
✉ pr@lmi.ne.jp ☎ 03-6853-8111 📠 03-6859-9050 <https://www.lmi.ne.jp/>

株式会社リンクアンドモチベーション 広報担当：前田

今後の展望

現在、国内外問わず人的資本開示の活性化という追い風も吹いていることから、今後「エンゲージメント・レーティングが高い企業＝中長期的に業績が向上する企業」として資本市場でも認知され、公表の流れはさらに加速していくと考えています。

当社が創業以来続けてまいりました従業員エンゲージメントの「診断」「変革」、そしてこの「公表」を通して、引き続きエンゲージメント市場の拡大を牽引してまいります。



リンクアンドモチベーショングループの概要

- ・代表取締役会長：小笹 芳央
- ・資本金：13 億 8,061 万円
- ・証券コード：2170（東証一部）
- ・本社：東京都中央区銀座 4-12-15 歌舞伎座タワー15 階
- ・創業：2000 年 4 月
- ・事業内容
 - 組織開発ディビジョン（コンサル・クラウド事業、IR 支援事業）
 - 個人開発ディビジョン（キャリアスクール事業、学習塾事業）
 - マッチングディビジョン（人材紹介事業、ALT 配置事業）
 - ベンチャー・インキュベーション

本件に関するお問い合わせ先

✉ pr@lmi.ne.jp ☎ 03-6853-8111 📠 03-6859-9050 <https://www.lmi.ne.jp/>

株式会社リンクアンドモチベーション 広報担当：前田